

や
まさき

地域に根ざした活動を!!
すぎの木工房「餅つき交流会」



木工品の数々

杣栗すぎの木家族会は、精神に障がいのある方を支える家族の会として、平成4年から活動されています。

当初は、居場所づくりが目的でしたが、会のみなさんの「仕事したい」との強い思いから、平成11年に共同作業所『すぎの木工房』が誕生し、現在は20名が登録。さらに活動を広く展開したいと、平成16年には、『NPO法人しさわ』を設立され、山崎町宇野に工房があります。

また、今年度は国の就労助成に申請され、その助成金で活動を広



赤い羽根共同募金助成金を活用し、送迎車の車庫が完成

今回購入された「餅つき機」



時折、吹雪く中での餅つき交流会
新しい餅つき機(左)の今後の活躍が楽しみです

げるために餅つき機を購入し、1月26日(水)にお披露目を兼ねた餅つき交流会が開催されました。当日は、デイケアあおぞら会の皆さんも参加され、杵つきと機械つきの餅の食べくらべや、ゲームなどで楽しい交流会となりました。屋外作業でカフト虫の飼育もされており、今回の餅つき機とあわせ、今後さらに活動が広がっていくことが期待されます。

(山崎支部 森井裕矢)

い
ちのみや

オーストラリアから高校生ホームステイ受け入れ
-はりまー宮ライオンズクラブ-

12月25日~
1月11日



振袖を着たメアリーさんと永井さん
西林寺(下野田)では茶道を体験しました

はりまー宮ライオンズクラブ(塚本智明会長、会員31名)では、「交換学生事業」としてこのほど、オーストラリアの高校生、メアリー・トニーさん(17)をホームステイで受け入れました。

この事業はライオンズクラブが世界中で連携して取り組むもので、一宮では15年前から永井雅二さん(三林)のご家庭が受け入れをされています。受け入れのきっかけについて、永井さんは「長女が交換学生としてアメリカへ行ったので、そのお返しのためで始めた。向こうの子どもの考えがわかって、楽しい」と話して下さいました。

今回のホームステイでは、日本のお正月を体験してもらいたいと、着付けや書道体験、凧あげなど、会員はもちろん地域の方がよく協力されたようです。

メアリーさんには、日本のお正月がどのように写ったでしょうか。永井さん、国際交流のボランティア、本当にご苦労さまでした。

(本部 前野瑞恵)



玄関にしめ縄を飾るメアリーさん。除夜の鐘をついたり、初詣に行くなど日本のお正月を楽しみました

読者の
感想より

自治会で子どもたちによる「火の用心」がなくなって久しくなります。少子化、不審者の出現などで子どもたちを守るためには、ということなのでしょう。「火災予防」の心がけは大事に。(山崎町 女性)

こんなに
社協です!!